

やすらぎ短信

令和4年
4月号

祈年祭



三月二十五日の万年神社を始まりに浦幌町内の各神社で春祭りが行われます。この春祭りのことを正式に「祈年祭」(きねんさい)といいます。祈年祭は、「としごいのまつり」ともいい、「とし」とは「稲の美称」のことで、「こい」は「祈る・願う」ことを意味します。日本人は古来より、四季のはじまりである春を迎えると、お米を始めとする五穀の豊穰を天地の神々に祈ることを第一にしてきました。浦幌町内には、浦幌神社を含め、各地域に二十四の神社があります。そこでは今もなお、開拓以来続けられている春の「祈り」が神々に捧げられています。この精神を今後も大切に後世へと伝えていきたいですね。

「月毎限定御朱印」

授与開始

浦幌神社で

は、四月一日より、季節に応じた絵柄の「月毎限定御朱印」の授与を開始致します。



● 絵柄について

まず、浦幌神社の境内「癒しの杜(もり)」で実際にみることでできる動物たちの輪(和)を描きました。シマエナガ・リス・フクロウ・タヌキ・キツツキ・キツネ・モモンガ・ウサギ・シカたちが描かれ、円満への祈りを込めております。そして、その輪(和)の中に季節の花を浮かべ、更に、御朱印の右横にも季節を感じる絵柄を添えます。神域である境内では、様々な動物たちが季節の花や植物を囲んで、生き生きと暮らしております。浦幌神社へ参拝される際は、まず、境内

で大いなる自然の力を肌で感じて、心を浄化していただきたいと思います。そして、受けられた御朱印をご自宅で見返す度に、ご参拝された時の様子を思い出して活力にいただければ幸いです。毎月、季節に応じて変わる絵柄の御朱印を是非、お楽しみください。

● デザインについて

御朱印の絵柄は「十勝ほんわかシマエナガ」のブランドを立ち上げ、活躍されている帯広市在住の小原和恵さんが手がけます。二月より授与がはじまりました「シマエナガ幸福開運守」の絵も手がけていただいております。

● 今後の絵柄

四月(一日～三十日)

花は「桜」

季節のものは「つくし」

五月(一日～三十一日)

花は「菖蒲」

季節のものは「兜」

(初穂料七〇〇円)



春の社日祭を斎行

去る三月
二十一日午
後一時より、
春の社日祭
を斎行致し
ました。この
お祭りは、農



耕神をまつり、五穀豊穰と農事安全を祈願するもので、春と秋の二回行われます。今年は大雪のため、浦幌神社の社殿内にて祭事を行いました。昨年同様に平穩無事に作物が成長し、豊作の年となりますようにお祈り申し上げます。

浦幌神社氏子会定期総会

書面会議にて開催

今年度も浦幌神社氏子会定期総会は、三月二十二日付けでの書面会議で開催し、原案通りご承認を頂きました。理事役員改選につきましては、全員が留任となりましたので、引き続き宜しくお願い致します。本年度の当番区は、住吉一区・

新桜町・緑町の三町内に再度お願い致します。また、夏季みこし祭（八月二十七日・二十八日）の開催については、今後の感染状況を見ながら六月上旬に決定致します。氏子の皆様には、今後ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

第六回癒しの杜（もり）

作品展を開催

去る三月二十五日～二十七日、標記作品展を開催致しました。まずもって蔓延防止で開催が延長になりましたことを心よりお詫び申し上げます。そんな中、ご来場いただいた皆様、真心のこもった作品を出展下さった作家の皆様にご改めて感謝申し上げます。来場の皆様が癒し作品に触れて、笑顔になり、楽しんでいただけて大変嬉しく思います。今回の出展者は下記の通り。



● handmade shop cat's-愛

● 杜の住人

● 牛飼い画家 DEN

● 水デカポン

● みずさわい

● 浄化木炭 M Loop (敬称略)

追伸 次回五月三日～五日開催予定

浦幌神社の鯉のぼり

期日 四月二十九日～五月五日まで

端午の節句にあわせて、子どもたちの健康を願い、境内に鯉のぼりを上げます。

勇壮に泳ぐ大きな鯉のぼりをどうぞ見に来て下さい。



浦幌神社行事予定

四月一日 月次祭
四月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八